

県議会やまがた

6月定例会号

第22号 / 平成30年(2018年)8月発行(年4回発行)



〔6月定例会〕本会議での代表質問

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

- 1 ページ 6月定例会の概要
- 6月定例会の代表質問・一般質問
- 採択した請願、可決した意見書
- 日沿道・東北中央道・羽越・奥羽本線関係の要望
- 2 ページ 6月定例会の一般質問
- 予算特別委員会の質疑内容
- 未来を担う人材育成対策特別委員会の研修会の開催
- 3 ページ 予算特別委員会の質疑内容
- 生徒・学生との意見交換会の開催
- 4 ページ 地域議員協議会の開催
- 活動団体等との意見交換会の開催
- 府省との意見交換会の開催
- 志田議長が全国議長会国土交通委員長に就任

「県議会やまがた」第22号は、6月定例会の内容を中心に、5月から7月にかけての議会活動についてお伝えします。

6月定例会の概要

6月19日から7月6日までの18日間の会期で開催され、本会議で自由民主党、県政クラブによる代表質問、4名の議員による一般質問を行い、さらに予算特別委員会で8名の委員による質疑・質問や常任委員会での審査を経た上で、平成30年度一般会計補正予算など、知事提出の21議案を同意・可決しました。

請願は5件上程され、1件が採択、4件が継続審査となりました。

意見書は1件発議され、原案どおり可決、関係する府省等に提出されました。

主な質疑内容は、次のとおりです。

代表質問から



自由民主党
鈴木 正法 議員
(西村山郡選挙区)

空港滑走路延長に向けた今後の取組み

問 空港滑走路の500m延長に向けて多くの課題があり、地元自治体と連携を密にした検討が必要と考えるが、今後どう取り組んでいくのか。

答 2500mへの滑走路延長に向けては、延長効果の明示や周辺環境についての地元との合意形成が大切とされており、これらについての十分な検討や航空便の一層の利用拡大が必要と考えている。今後、関係部局が連携して検討を行う体制を構築するとともに、地元自治体の意見を十分に聞きながら、滑走路延長の実現に向けてしっかりと検討を進めていく。

的な道路ネットワークの重要物流道路の指定に向け、山形県広域道路交通計画(仮称)の策定に取り組んでいく。

材確保に加え、平成30年度から、潜在保育士の復帰促進や労働環境の改善を図り、離職防止への取組みを強化していく。また、県と市町村の職員との合同研修等により資質向上とノウハウの共有を図り、指導監査体制を一層強化し、保育の質の確保・向上にしっかりと取り組んでいく。

問 平成30年5月の日本遺産認定を受けて、紅花に関わる多くの自治体が独自色を出し、重層的で魅力的なものとしていくために、今後どう展開していくのか。

答 県や関係市町、関係団体、地元等からなる推進協議会を早急に設立し、文化庁の日本遺産魅力発信事業による補助を活用しながら、SNS等を利用した情報発信、普及啓発など、幅広く事業を展開する。今後、教育・観光・農業の各分野の関係者による連携のもと、できる限り広い視点で取り組み、本県の観光振興、地域経済の活性化を図っていく。

問 健康長寿日本一を目指したが、健康長寿日本一を目指したが、現状と今後の取組みはどうか。

答 山形県誰もががんを知り、指す条例に基づき、がん総合相談支援センターの開設や10月をがん検診推進強化月間に設定し、がん対策県民運動を推進するとともに、若者への検査受診費用の一部支援等を行っている。今後は、乳がん検診等の休日検診実施への支援等により、全てのがん検診受診率の全国1位を目指していく。また、市町村等と連携し生活習慣の改善の普及啓発に取り組み、より多くの若者のがん予防に対する意識向上を図っていく。

問 産地間競争が激化する中、つや姫や雪若丸等を含む高品質米の生産にどう取り組んでいくのか。また、主要農作物種子法廃止に伴う生産現場の不安の声にどう応えていくのか。

答 これまでの修学資金や再就職準備金の貸付け、新規雇用に対する奨励金等による人



県政クラブ
広谷五郎左工門 議員
(山形市選挙区)

保育人材及び保育の質の確保

問 増大する保育需要に対応するためには、施設整備と人材の確保が急務である。保育を支える人材と保育の質の確保に、今後どう取り組んでいくのか。

答 産地間競争が激化する中、つや姫や雪若丸等を含む高品質米の生産にどう取り組んでいくのか。また、主要農作物種子法廃止に伴う生産現場の不安の声にどう応えていくのか。

健康長寿日本一を目指したが

採択した請願

一般質問から

可決した意見書

●ライドシェアの導入に反対し、タクシー事業の維持・確保を求める意見書

●ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを求める意見書の提出について



自由民主党
小松 伸也 議員
(最上郡選挙区)

県有施設の維持管理業務の一元化の検討

問 島根県の取組みの成果を元に、本県の県有施設の維持管理業務の一元化について検討してはどうか。

答 県有施設の維持管理については、厳しい財政状況を踏まえ、適切な長寿命化対策と維持管理コストの低減を着実

日沿道・東北中央道の建設促進と羽越・奥羽本線等の高速化促進等を要望

5月11日、東京都内で、「日本海沿岸東北自動車道」と「東北中央自動車道」の整備促進、「羽越・奥羽本線等」の高速化促進及び悪天候時の安全運行・安定輸送の確保について、要望活動を行いました。

本県をはじめ、青森、秋田、福島及び新潟県の5県議会から議長等が参加し、日沿道・東北中央道の着実な整備と羽越・奥羽本線等の一日も早い高速化について、国土交通省、NEXCO東日本、JR東日本等の関係機関に対し要望しました。



国土交通省 石田総括審議官に要望書を手渡す

※農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全等に関する法令等を遵守するための点検項目を定め、これらの実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ、生産工程の管理や改善を行うこと

にを進めていく必要があると考
えている。島根県における県
有施設の維持管理業務と修繕
予算の一元化の取組みなど、
他県の事例を参考にしながら
本県への導入にあたっての効
果や課題を関係部局と検討し
ていく。

最上地域における道の駅構想

問 東北中央自動車道の整備
を見据え、最上地域の活性化
につながる北のゲートウェイ
としての新たな道の駅の設置
に向けて、県としてどのよう
に支援していくのか。
答 最上地域においては、道
路利用者の休憩施設である
とともに、観光拠点ともなる道
の駅を新たに設置し、地域の
活性化につなげていくことが
重要である。現在、市町村に
おいて、設置に向けた検討が
進められているところであり
県としては、計画段階からの
検討等への参画、圏
域全体での協力体制
の構築、国の補助制
度等の活用について
の助言など、積極的
に支援していく。



県政クラブ
松田 敏男 議員
(西村山郡選挙区)



人口減少時代の水道経営
問 人口減少や節水意識の浸
透により給水量及び収入が減
少する中、老朽化に伴う施設
更新が課題となっている。水
道事業の経営基盤強化にどう
取り組む、解決していくのか。

答 平成30年3月に策定した
山形県水道ビジョンにより、
市町村等の水道事業者による
適切な資産管理や現状把握、
中長期的な経営計画等の策定、
採算性が確保される料金設定
の検討など、健全経営に向け
た取組みを促していく。今後
水道事業者の単独経営では持
続困難な場合も想定されるこ
とから、広域連携による経営
基盤の強化を検討していく。

園芸試験場の整備計画

問 「園芸大国やまがた」の
実現を目指す上で、園芸試験
場の抜本的な整備が必要と考
えるがどうか。
答 平成30年度は、技術移転
の拠点となる研修棟の整備の
ほか、開発品種の流出を防ぐ
セキュリティシステム、ス
マート農業ハウス、果実の長
距離輸送や貯蔵技術を開発
する研究調査棟等を整備して
いく。さらに、研究管理施設
についても、実験設備の充実
や最新機器の導入等について
具体的な検討を進めており、
こうした取組みを通じて、画
期的な品種や技術の開発を強力
に進める拠点施設となるよう
順次整備を進めていく。



日本共産党山形県議団
渡辺ゆり子 議員
(山形市選挙区)

主要農作物種子法(種子法)
復活への対応
問 種子法が平成30年4月1
日に廃止されたが、種子生産
に関する知見の流出を招く農
業競争力強化支援法第8条第

4項の削除を含む種子法の復
活について、国に強く求める
べきと考えるがどうか。
答 本県農業の持続的な発展
のため、品種開発と種子の安
定供給、知的財産の保護は重
要な課題であり、生産現場の
声も聞きながら、条例化を視
野に必要な対策を講じていく
また、農業競争力強化支援法
の規定の削除を含む種子法復
活法案が現在国会で審議され
ているため、今後の議論を注
視していく。

県立図書館の充実と指定管理者
制度の考え方

問 大規模改修予定である県
立図書館の機能充実をどう図
っていくのか。また、指定管
理者制度を導入せず直営で運
営すべきと考えるがどうか。
答 県立図書館の活性化を図
るためには、人的・物的両面
の機能充実が重要であること
から、司書の配置充実・能力
向上や図書資料の充実強化に
努めていく。また、指定管理
者制度については、導入効果
や県の直接関与の必要性等の
観点で検討することが重要と
考えており、県民サービスを
さらに向上させる運営方法に
ついて、他県の実情等を情報
収集しながら検討していく。



自由民主党
松津 博士 議員
(寒河江市選挙区)

県産米輸出強化に向けた今
後の取組み
問 県産米の輸出拡大に向け
た課題をどう認識し、販売戦
略をどのように展開するのか。

答 富裕層向けの百貨店や高
級スーパーでの小売に加え、
レストラン等の業務向けへの
販路拡大が必要と考えており、
価格競争力の高い「低コスト・
多収米」の栽培技術体系の確
立と実証に取り組んでいく。
また、現地実証圃で生産した
「出羽きらり」について、香
港やシンガポールのレストラ
ン等での食味・品質の求評調
査や精米輸出のハードルが高
い中国でのパッケージの求
評調査も実施しながら、輸出
拡大に向けた取組みを進める。

少子化等における中学校の運
動部活動のあり方

問 教員の負担軽減が求めら
れる中、今後の中学校におけ
る運動部活動のあり方につ
いてどう考えているのか。
答 運動部活動実態調査を
実施し、現状と課題を把握した
上で、スポーツ庁の「運動部
活動の在り方に関する総合的
なガイドライン」を踏まえ、
本県独自の運動部活動方針を
策定する。また、平成30年度
から、教員に代わって部活動
の管理運営ができる部活動指
導員を配置しており、県内公
立中学校98校中48校に合計54
人を配置した。今後、希望す
る全ての公立中学校に配置で
きるよう政府に要望していく。

予算特別委員会の
質疑内容



自由民主党
佐藤 聡 議員
(鶴岡市選挙区)

庄内中高一貫校(仮称)の設置

問 庄内中高一貫校設置計画
公表から、およそ9か月が経
過したが、現在の進捗状況と
今後のスケジュールについて
聞きたい。
答 当初は平成30年1月に計
画案を決定する予定としてい
たが、様々な意見等を踏まえ、
更に時間を掛けて幅広く意見
を聞くとともに、設置の意義
等について理解を得る努力を
続けている。関係者懇談会に
おける議論や各自治体の意向
を踏まえ、丁寧に進めながら、
36年度の開校を目指し、努力
をしていく。

冬期間の運航確保

問 庄内空港における冬期間
の安定した運航確保に対する
県の考え方はどうか。
答 滑走路面については、除
雪車13台による除雪や凍結抑
制剤散布に加え、通常着陸20
分前に行う摩擦抵抗値測定を
10分前にも行うなど、適切な
管理に努めている。また、平
成30年度に滑走路上空の低層
(約90m)における風の情報
をパイロットに伝える気象観
測システムの実証実験を予定
しており、今後気象庁で実運
用されるよう提案している。



県政クラブ
佐藤 昇 議員
(上山市選挙区)

安全で快適な道路の舗装修繕
の進め方

問 道路の舗装状況をどのよ
うに把握し、舗装修繕の進め
方をどう考えるか。
答 路面状況については、市街
地や交通量の多い道路では1
日1回、その他の道路では3
日に1回の頻度でパトロール
し、路面の穴埋めや段差解消
の処理等を行っている。また、
5年毎に路面性状調査を実施
し、その評価結果等から優先
順位を決めて舗装修繕を実施
している。今後も、安全で快
適かつ円滑な通行ができるよ
う、適切に路面状況を把握し、
舗装修繕に取り組んでいく。

自転車保険の義務化

問 自転車保険への加入を義
務化するべきと考えるがどうか。
答 義務化にあたっては、条
例により加入を義務づけてい
る6府県における条例制定の
背景や効果、課題等を調査す
るとともに、県民の自転車利
用状況、保険の加入状況や意
識等を把握する必要がある。
県内で発生した自転車関連交
通事故の多くは自動車との事
故で、歩行者との事故は少な
い状況であることや、交通安
全、交通事故
防止の取組成
果等を踏まえ
ながら、総合
的に検討して
いく。



未来を担う人材育成対策特別委員会が研修会を開催

県議会では、県政課題に対応するテーマを選定し、調査・審議する特別委員会を設置しています。
調査・審議に専門的な知見を取り入れる
ため、6月28日、未来を担う人材育成対策
特別委員会において、「スポーツを通じた
人材育成」をテーマに、公益財団法人山形県
体育協会 スポーツ指導員の池田めぐみ氏から
講演いただいた後、意見交換を行いました。



自由民主党
能登 淳一 議員
(村山市選挙区)

本県産業を担う人材を確保す
る取組み

問 新規卒業者等を含めたU
ターン就職の促進や早期離
職防止に向けた取組みをどう
進めていくのか。
答 平成30年度は、Uターン
就職を促進させるため、都
内開催の転職フェアへの出席
や首都圏大学の就職担当者
と県内企業との情報交換会の開
催、学生等を対象とした山形
の暮らしと仕事体験等の取組
みを新たに実施する。また、

経営者向けセミナーや若手社員を対象とした交流会を開催し、早期離職防止に取り組みでいく。

需要に応じた米生産

問 平成30年度から需要に応じた米生産体系に変わったが、生産の目安の確実な履行に向け、どう取り組んでいくのか。

答 農林水産省が発表した4月末現在の主食用米の作付動向によると、本県では概ね生産の目安に沿った作付となっている。一方、増加傾向となっている県もあり、国全体の需給バランスを確保するため、全国農業再生推進機構において実効性のある調整機能が発揮されるよう、国に対して支援の強化を要望していく。



自由民主党
矢吹 栄修 議員
(天童市選挙区)

山形県を「営業」する組織

問 山形のいいもの及び山形そのものを国内外に発信する「営業」組織を作り、県外・国外から資金を流入させる体制を作っているのか。

答 県産品や観光の分野横断的なトップセールスや県産品の魅力を国内外に発信し、本県の認知度を高め、観光誘客につなげるなど、内部組織が連携したセールスプロモーションに積極的に取り組んでいる。提案のあった組織については、今後、他県の実践事例等も十分調査しながら、研究していく。

県の総合的な空き家対策と活用施策

問 総合的な空き家対策について、今後どう取り組み、活用施策を講じていくのか。

答 老朽危険空き家の除却と利活用促進の両方から進めているが、市場で売買される中古住宅は少なく、持ち家の空き家を掘り起し、利活用を促進させる取組みが必要と考えている。今後、空き家を低額所得者等向けの賃貸住宅として活用する取組みやリノベーション等により、将来増加が懸念される空き家の発生を抑制していく。



無所属
山科 朝則 議員
(新庄市選挙区)

農林大学の専門職大学化

問 農林大学のさらなる機能強化に向け、早急に専門職大学化を検討すべきと考えるがどうか。

答 専門職大学では、生産の知識や技術に加え、経営力や行動力の習得も期待できるが、国が示す設置基準を満たすための教員確保や施設整備等の検討が必要である。市町村や農業関係者等から意見を聞き、基準緩和や支援制度の創設を国に提案しながら、農業を支える実践的な人材育成拠点を目指して検討を進めていく。

新庄病院における障がい児医療・療育

問 新庄病院改築整備基本計画に障がい児の医療・療育への対応が盛り込まれたが、今

後、どのように取り組んでいくのか。

答 新病院では障がい児の診療、リハビリテーション体制の整備や歯科の対応を検討している。今後、関係機関と連携しながら検討を進め、平成30年度に着手する基本設計に障がい児医療・療育に係る施設・設備の整備内容を反映させるため、スピード感を持って対応していく。



自由民主党
島津 良平 議員
(東置賜郡選挙区)

医療的ケア児の実態把握

問 医療的ケア児の実態把握とサービスの向上に、どう取り組んでいくのか。

答 福祉的サービス等の未利用者もおり、実態把握が難しい状況にあることから、支援に関わる関係者が一堂に会する協議の場を総合支庁単位に立ち上げ、実態の把握と分析情報共有等を行い、適切に支援していく。また、市町村と連携して、課題やニーズを踏まえ必要とされるサービスを提供するとともに質の向上に取り組んでいく。

森林境界の明確化

問 森林整備を進める上で重要となる森林境界の明確化について、どのように進めていくのか。

答 境界の明確化に向けた取組みを加速させるため、研修会等において取組みの先進事例を紹介する等の啓発に努めている。また、林地台帳の公表・活用と森林経営管理制度の導入を契機として、市町村と連携しながら、森林環境譲与税等の活用を含め、境界の明確化が計画的に推進されるよう、検討していく。



県政クラブ
高橋 啓介 議員
(山形市選挙区)

子どもの貧困対策

問 子どもの貧困対策について、今後どのように施策展開をしていくのか。

答 子どもとその家庭を対象とした生活実態調査を実施し、支援を必要とする方に適切に対応できるよう、施策を充実させる。また、子ども食堂の取組み団体や食材提供団体等による子どもの居場所作りのネットワークを構築するとともに、運営の手引書の作成、開設準備講座の開催など、地域における支援の輪が更に広がるよう後押ししていく。

県立病院での医師の確保

問 県立病院の診療科の常勤医師の配置状況はどうか。また、医師の確保にどう取り組んでいくのか。

答 平成30年6月現在で医師定数に達していない診療科は、中央病院23科中3科、新庄病院16科中7科、河北病院14科中11科である。SNS等によ

る医師に対する情報発信を強化するほか、各専門領域において、患者から信頼される標準的な医療を提供できる「新専門医」の養成にも取り組み、医師の確保・定着を図っていく。



自由民主党
船山 現人 議員
(東置賜郡選挙区)

歩行空間確保事業の進め方

問 歩道未整備区間の早期整備に向け、必要な予算を確保すべきと考えるがどうか。法指定通学路の歩道整備

率は78%に達しているが、整備完了に相当の期間を要する状況である。このため、従来の歩道整備に加え、新たな取組みとして、既存道路敷地内への擁壁等の設置による路肩部の拡幅、水路の蓋掛けや車道幅員の見直しによる空間確保など、低廉で迅速な手法を取り入れ、これら事業に必要な予算の確保に努めていく。

県政運営の考え方と予算編成

問 県民の身近なところにある改善すべき箇所が改善されていない。知事が現場の声を重く受け止め、課題を洗い出す必要があると考えるがどうか。

答 これまで各種意見交換等の場を通して、多くの県民の

生の声を直接聞き、様々な課題を施策立案や事業に反映させてきた。農業高校では、設備の更新が進まないとの現場の声を受け、更新計画を見直した。これからは現場の声を大切に、県政運営に邁進していきたい。



生徒・学生との意見交換会を開催しました

県議会では、生徒・学生の皆さんに県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図ることを目的に、県議会議員との意見交換会を開催しています。

平成30年度は、日本大学山形高等学校（5月15日）、鶴岡工業高等専門学校（6月14日）、東北公益文科大学（7月12日）、白鷹高等専修学校（7月17日）の生徒・学生の皆さんと意見交換を行いました。（平成30年8月現在）



日本大学山形高等学校



鶴岡工業高等専門学校



東北公益文科大学



白鷹高等専修学校

地域議員協議会を開催しました

地域議員協議会は、各総合支庁において、地元選出議員が一堂に会し、地域における行政課題や施策展開について、幅広い調査・審議・提言を行い、総合支庁における施策・事業への反映を図るものです。今年度第1回目の協議会を7月19日に県内5会場において開催し、活発な議論を行いました。2回目は11月に開催予定です。日時・会場については県議会ホームページ等でお知らせしますので、ぜひお近くの会場にお越しください。

【主な審議項目】

東南村山

- ・「山寺が支えた紅花文化」の日本遺産登録を受けた今後の展開について
- ・ICTを活用したイノシシ捕獲の実証について
- ・教育現場における熱中症対策について
- ・洪水浸水想定区域の見直しの状況について
- ・地域間交流の今後の展開について

西村山・北村山

- ・インターチェンジを活用した地域活性化について
- ・中核市移行後の連携中枢都市圏形成に向けた検討状況について
- ・クルーズ船観光客の受入れ態勢について
- ・日本遺産を活用したふるさと教育について
- ・豪雨時のダム等の放流の判断基準等について

最上

- ・自殺防止に向けた取り組みについて
- ・豪雨災害等への備えについて
- ・次期道路中期計画の策定について
- ・クルーズ船の寄港増加を踏まえた観光誘客について
- ・通学路の安全安心の確保について

置賜

- ・洪水・土砂災害対策の取り組みについて
- ・医療的ケア児の実態について
- ・道路中期計画骨子案について
- ・国道287号の整備について
- ・福島駅～米沢駅間のトンネル整備について

庄内

- ・豪雨災害等におけるため池の防災対策について
- ・新潟駅での同一ホーム乗換えについて
- ・放課後児童クラブの運営状況について
- ・第3次農林水産業元気再生戦略における地域目標について
- ・農福連携の取り組み状況について



活動団体等との意見交換を行いました

県民の皆さんの多様な意見を県政に反映する広聴機能を強化するため、常任委員会の現地調査において意見交換を行いました。

農林水産常任委員会

5月22日、温海町森林組合の方々との意見交換を行いました。温海地域の森林概況、組合の組織体制、林業経営や人材育成に係る取り組みについて説明を受けた後、本県林業の課題等について意見を交わしました。



商工労働観光常任委員会

5月24日、株式会社DMC天童温泉の方々との意見交換を行いました。天童温泉の旅館が中心となり設立されたDMC(地域旅行会社)の皆さんと地域の魅力を掘り起し、商品化・発信・販売につなげる取り組みについて意見を交わしました。



建設常任委員会

6月4日、一般社団法人山形県建設業協会米沢支部の方々との意見交換を行いました。協会の概要や取り組み内容について説明を受けた後、建設業を取り巻く現状や、人手不足等の課題解決に向けて、活発に意見を交わしました。



府省との意見交換会を開催しました

6月15日、東京都内で、府省との意見交換会を開催しました。この会は、県政の重要課題に関し、国の制度等への反映や新たな施策の方向性等を探るとともに、議会審議の充実や課題解決に資することを目的として開催したもので、関係府省の幹部を招き、議員16人が出席しました。会議では、3つの分科会毎に活発な議論を行いました。

第1分科会

■テーマ：2020年東京オリンピック競技大会等を契機とした東北地方へのインバウンドの推進について

■主な論点

- ・外国人観光客の東北地方への訪問を促進する施策について
- ・2500m未満の地方空港の滑走路延長等、国際線の就航促進に向けた支援について



第2分科会

■テーマ：医師の偏在化対策等地域医療の充実について

■主な論点

- ・医師の都市部への偏在を是正し、地域で医師が定着するための対策について
- ・地域医療介護総合確保基金等の財政措置の拡充及び柔軟な運用について



第3分科会

■テーマ：森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮称)の活用と地域の活性化について

■主な論点

- ・森林ノミクスの推進による地域活性化について
- ・森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮称)を活用した林業等の活性化について



県議会は、年に4回(2月・6月・9月・12月)定例会を開催します。「県議会やまがた」は、各定例会の概要等をお知らせします。

編集発行 山形県議会 〒990-8570 山形市松波2-8-1 TEL 023-630-2846
ホームページアドレス <http://www.pref.yamagata.jp/assembly/>

山形県議会

検索

志田議長が全国議長会国土交通委員長に就任

7月25日、東京都内で開催された全国議長会の第160回定例総会において、志田英紀県議会議長が国土交通委員長に選任されました。

本委員会は24都府県で構成し、所管事項の調査研究、政策立案、国等への要望事項の審議等を行います。

翌26日には、防災・減災対策の充実強化、道路・鉄道の整備促進等について、要望活動を行いました。



牧野国土交通副大臣(中央)に要望書を手渡す志田議長(左から二人目)